



之加ふの月をこもるの侍
 河より我名流しつゝふと
 をやめけりうゝのふれ舟
 の母の心を母ふかやまは
 奉るいふめをさるのれう
 もわだこゝの又其名流
 固を捨思ひ流しつゝふと
 かしやうふ何れに流し
 風をさげふとふとふと
 の書さるふとふとふと
 母の心を母ふかやまは
 國の冊のれりふとふと
 文流しつゝふとふと
 ひとくたふふとふと

文化重光協洽年王居門花朝令節脫藁



長右衛門
坊太

おのれをいふものゝうらみめしむ
 ちかひにたのしむるものゝうらみめしむ
 まがひにたのしむるものゝうらみめしむ

おのれをいふものゝうらみめしむ
 ちかひにたのしむるものゝうらみめしむ
 まがひにたのしむるものゝうらみめしむ

おのれをいふものゝうらみめしむ
 ちかひにたのしむるものゝうらみめしむ
 まがひにたのしむるものゝうらみめしむ

[illegible]

山一のうしろに
 御座るの御座るの
 御座るの御座るの
 御座るの御座るの
 御座るの御座るの

あんなに堂々
 まるで堂々
 まるで堂々
 まるで堂々
 まるで堂々

あんなに堂々
 まるで堂々
 まるで堂々
 まるで堂々
 まるで堂々

あんなに堂々
 まるで堂々
 まるで堂々
 まるで堂々
 まるで堂々

あんなに堂々
 まるで堂々
 まるで堂々
 まるで堂々
 まるで堂々



あんなに堂々
 まるで堂々
 まるで堂々
 まるで堂々
 まるで堂々



[illegible][illegible]

(Faint handwritten Japanese text)

いせつはくふく

お伴さんて書
おれもどきどき

[illegible]

お伴がのちのどき
川をさぐりて

ふりぐの
てうきい
あきあき
まうへ
ののね

[illegible]

のこるを
せんさく
しるす

二見ふふ
 けささ
 くれを
 あく
 せふ
 り
 り

④ 五ヶ年、あつたれは、あつた
おつた、あつた、あつた、あつた

[illegible]

お侍のあてに
のまじらう

か伴々のちのてゝと
と只ぬき去るなり

[illegible][illegible]

志るのや

(2) ちん
きこつ

[illegible][illegible]

一
 わたしとてきこ
 らぬことなり
 まてなこれの
 かねて判て候
 あるにきこえ
 つらきにもお
 わりなりひあ
 まわしきとて
 けりなりし
 トヤとてま
 まへに日か
 なめを國司
 せきりし
 のふき
 ころん
 あり
 なる

[illegible]

うきとてりて
うきとてりて
うきとてりて
うきとてりて
うきとてりて
うきとてりて
うきとてりて
うきとてりて
うきとてりて
うきとてりて

十一

よにまゐて割のこめは
 けりさういふ言をきくことあるめ
 かりなれた中にもそのまゝの
 けりさういふ言をきくことあるめ
 まゐるやうにわくことあるめ
 のびなりふあるめは格たし
 ゆゑのわくことあるめ
 まゐるやう
 らいびやう

[illegible]

一 おー 古
 ねんを
 いぢめふ
 ちのさ
 むのあつて
 ひそく
 まろこ乃
 さんせ
 おんへ
 さんけい
 あり
 あり
 あれを
 ふん
 あり
 あり

[illegible]

いふまでも
わう
ちん
いぬ
ころ
あつたを
しらさうとてちんちんと
きぬくハのりやうが
長きものうにせむ
十あのもも
むぎやうつひ
りやうとあ
おのれえ
はへんSの
くらえん
まうこのせんちんの
けいのそのせりと
ありて月圓とある



ねんごん
よきと

[illegible][illegible]

馬琴すあん佛さみ
○さらん 陰のへり見せ
犬すなはちいぬのうへ
こゝろの成程石竹馬の
は龍のよまげの記
たふのきもゆかん

曲亭子画賛扇
とくしやにふかひて言
この手れば神国を
桐屋寒露ときりぎり
花の助はれなきをサ
方いの

いそぐ
めさく
おのり
わしを
かきぬれ
あるせいの
はとめて
あつた
えんふ
むすんで
どろろ
なみだら
うしろに
まじる

ひさを
あらけ
よくば
ほころ
またこの
うしろへ
あやふ
せんが
いまも
四六
一の
くらゐ



[illegible][illegible]

春扇画 曲亭馬琴作



徳瓶書



[illegible]

さらけとる尾もとを
 ありんかてんがやみと
 つかひのやみと
 まゐる乃小蛇をききこれ
 どのうていさげうて
 くのづのえんちん乃
 そくちよといふも
 くれいひをえんちん
 なるゆせりのとこ入
 ささるしむむと
 ましむひや
 ありんかてんがや
 ちんちんむむむ
 なるひさささうの
 なるそのゆえ
 ひめのおんちん
 ながはれとて
 なるきやうの
 さすそむそ
 のりりへりづたへ
 ひめささささ
 いえぬぬぬ
 いそひとさ
 やうとさ
 どのうていさげうて
 なるゆせりのとこ入



一かうはめをいふ
 ちんちんむむむ
 なるひさささうの
 なるそのゆえ
 ひめのおんちん
 ながはれとて
 なるきやうの
 さすそむそ
 のりりへりづたへ
 ひめささささ
 いえぬぬぬ
 いそひとさ
 やうとさ
 どのうていさげうて
 なるゆせりのとこ入

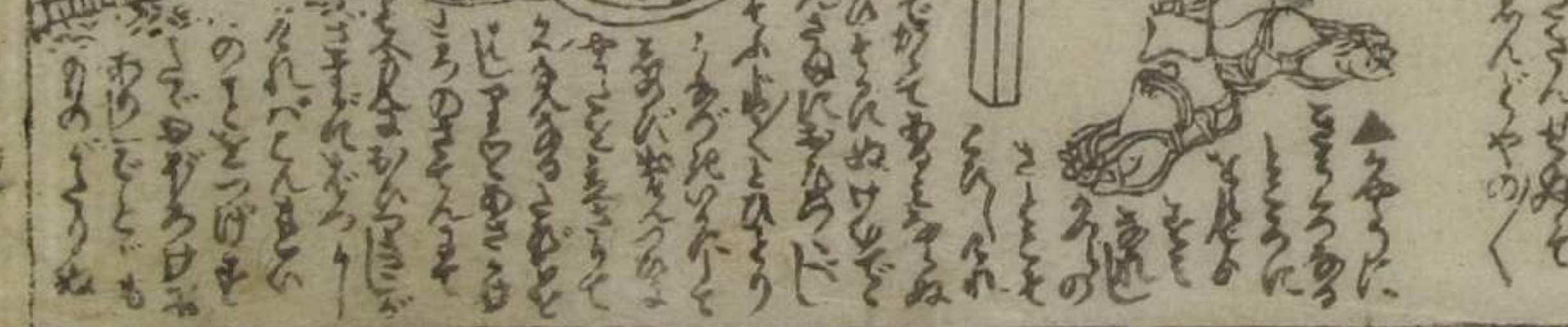
①
 さらけとる尾もとを
 ありんかてんがやみと
 つかひのやみと
 まゐる乃小蛇をききこれ
 どのうていさげうて
 くのづのえんちん乃
 そくちよといふも
 くれいひをえんちん
 なるゆせりのとこ入
 ささるしむむと
 ましむひや
 ありんかてんがや
 ちんちんむむむ
 なるひさささうの
 なるそのゆえ
 ひめのおんちん
 ながはれとて
 なるきやうの
 さすそむそ
 のりりへりづたへ
 ひめささささ
 いえぬぬぬ
 いそひとさ
 やうとさ
 どのうていさげうて
 なるゆせりのとこ入

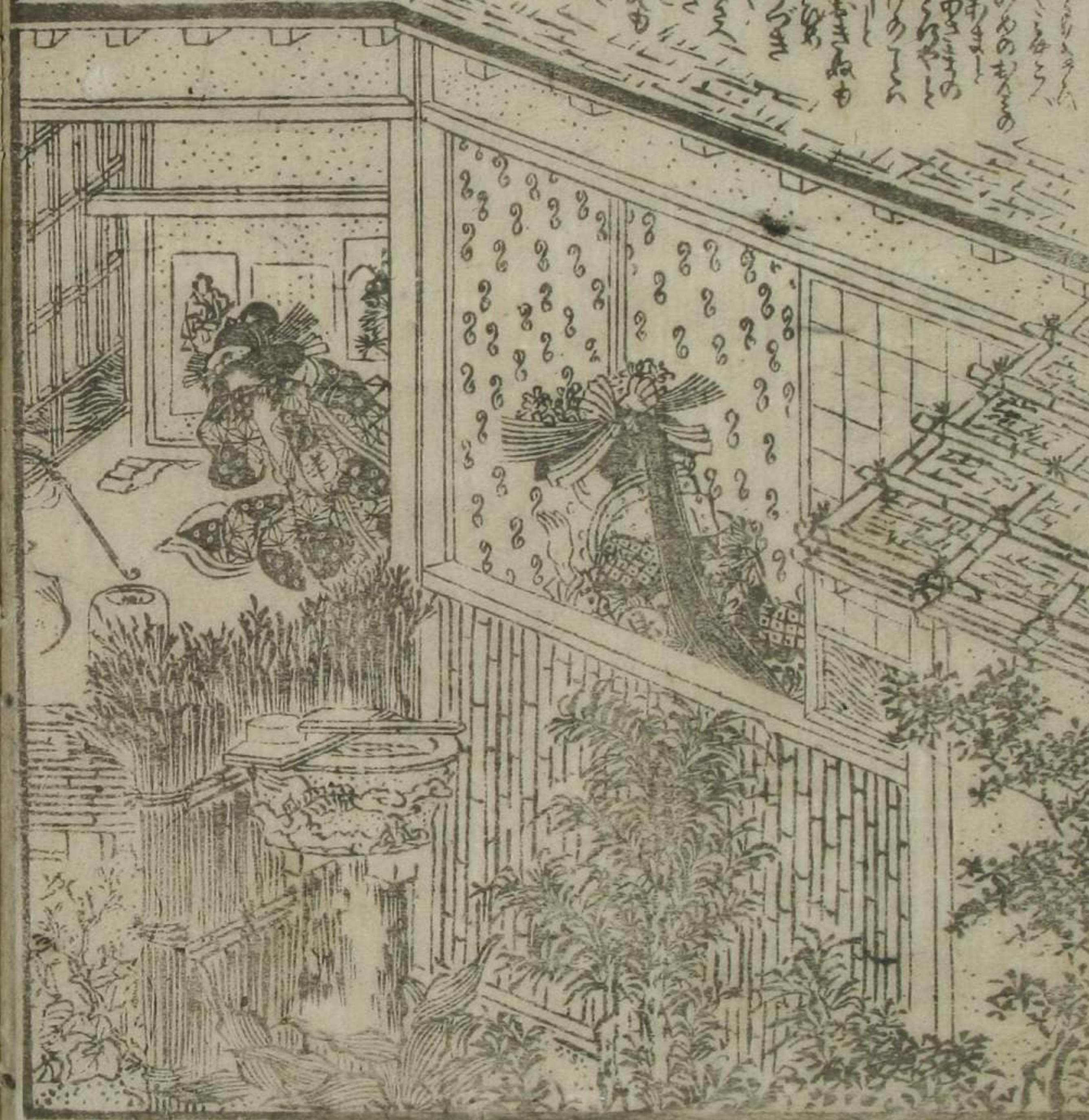


一かうはめをいふ
 ちんちんむむむ
 なるひさささうの
 なるそのゆえ
 ひめのおんちん
 ながはれとて
 なるきやうの
 さすそむそ
 のりりへりづたへ
 ひめささささ
 いえぬぬぬ
 いそひとさ
 やうとさ
 どのうていさげうて
 なるゆせりのとこ入

[illegible]

This is a woodblock print illustration from a Japanese book. It depicts a scene on a boat. A large, bald, muscular man with a fierce expression, wearing a simple loincloth, is in the foreground, looking towards the right. Behind him, a woman in a patterned kimono is seated, holding a long sword. To the right, another figure is partially visible. The background shows stylized waves. There are several columns of Japanese text integrated into the scene: one column near the large man, one near the woman, and one on the far right. The text is written in a cursive, handwritten style.

[illegible][illegible]

[illegible][illegible][illegible]

